

## 熊本大学アクティブラーニングの指針

平成 30 年 7 月 31 日

大学教育統括管理運営機構長

### (目的)

熊本大学は、学生の主体的・能動的学修を促進させるために、次のとおりアクティブラーニングを取り入れた授業を拡大することによって、深い教養と高い専門性を基に日本及び国際社会の発展に貢献するための論理的な思考ができ、社会情勢の変化を理性的に察知し、社会の抱える課題解決に応用できる専門力を兼ね備え、かつ、多様な文化や価値観を持った人々と知性的なコミュニケーションを取ることができる人材を育成する。

### (定義)

熊本大学におけるアクティブラーニングは、「学生の思考を活性化させること」と定義し、学生の主体的・能動的学修への参加を取り入れたあらゆる教授・学修法を指す。

### (実施体制)

教養教育及び各学部・大学院（以下「学部等」という。）において、大学教育統括管理運営機構及びファカルティ・ディベロップメント委員会が中心となり、ディプロマ・ポリシーに則った人材を育成するため、学部等の特色に応じたアクティブラーニングを展開する。